

Topic

NEWS 令和6年度入社式
水ひと筋に生きる
季節を楽しむ
専用工場地鎮祭・新事業のご紹介

新たな専用工場新設へ

膜洗浄専用工場地鎮祭

当社は、2月9日、膜洗浄専用工場建設工事の地鎮祭を行いました。代表取締役社長 嶋村をはじめ、役員、工事関係者が参加し、地鎮の儀、玉串奉奠などの神事を行い工事の安全を祈願しました。専用工場は本社敷地内の自社倉庫跡地に建設され、新事業である「RO膜リサイクル事業」に伴う事業スペースのほか、分析室や研究室、オフィススペースも併設します。7月中の完成を予定しています。



▲代表取締役社長 嶋村による玉串奉奠の様子



▲神酒拝戴の様子



▲新工場完成イメージ
敷地面積643㎡、2階建て、延床面積590㎡

今秋開始予定のゼオライトの新事業 『RO膜リサイクル事業』ってどんな事業？

POINT
01

新事業の背景

近年、世界的に水不足問題が深刻化しており、飲料水の確保は世界的な重要課題となっています。海水から真水をつくり飲料化する「海水淡水化」が広く普及するようになり、RO膜の需要が大幅に増加し、使用済みRO膜の廃棄量も急激に増加しています。多様なプラスチックから構成されているRO膜は再資源化が難しく、多くの使用済みRO膜は焼却または埋め立て処分されているのが現状です。



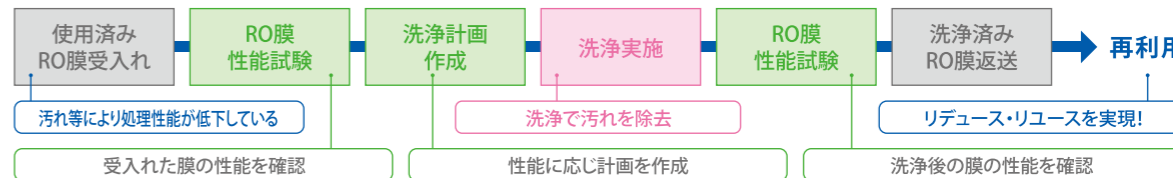
POINT
02

ゼオライトにできること

当社は1970年代からRO膜技術を採用し、メンテナンスとして膜の洗浄・再利用に取り組んできました。RO膜の廃棄問題が顕在化している現在、当社のRO膜再生に関する知見を活かし、他社製の水処理プラントユーザーから使用済みRO膜を預かり洗浄・再生する「RO膜リサイクル事業」を秋に開始する予定です。RO膜を再利用するニーズにお応えし、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を促進し環境貢献を目指してまいります。

POINT
03

膜洗浄事業の概要



令和6年度 入社式を執り行いました



4月1日(月)福岡本社において令和6年度の入社式を行いました。式には新入社員4名及び役員、幹部社員が参加しました。代表取締役社長 嶋村謙志が祝辞を述べ、新入社員代表が答辞を述べ、一人一人へ辞令が交付されました。役員や社員代表より、歓迎の言葉、社会人として、またゼオライトの一員としての心構えやアドバイスなど、温かい激励の言葉が贈られました。新入社員の皆さんは終始緊張した面持ちでしたが、厳かな雰囲気の中、社会人としての新たな第一歩をスタートすることができました。

入社式後は、歓迎懇親会が開催されました。自己紹介や歓談をするうちに緊張もほぐれ、和やかな懇親会となりました。

今後、新入社員は集合研修を受けた後、それぞれの配属先で業務に従事する予定です。



■代表取締役社長 嶋村謙志 祝辞(抜粋)

本日、皆さんを当社に迎えることができ大変うれしく思います。SDGsの6番目のゴールには「水」が掲げられており、世界人口の増加とともに水の需要は増加し、ニーズも変化しています。水に関わる仕事は奥が深く、やりがいがある仕事です。仕事をする際には、言われたことだけではなく自分なりの創意工夫をプラスすることを心掛けてほしいと思います。ぜひゼオライトの一員ということに誇りを持ち、よりお客様に必要とされる会社を一緒に目指していきましょう。

■新入社員代表 答辞(抜粋)

ゼオライトの一員として、このように温かく迎えていただいたことに感謝するとともに、新入社員一同、その責任の重さを感じ、身が引き締まる思いです。新社会人として何事にも挑戦し、二日でも早く会社の発展に貢献できるよう、日々精進してまいります。社会へ一歩足を踏み入れたばかりの未熟者であるため、先輩方にはご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

新入社員のご紹介

今年度、ゼオライトに新たに加わった4名の新入社員を意気込みとともにご紹介いたします。



大野 浩輝 Ono Koki
 中学高校と陸上競技をしていました。その経験を活かして社会に貢献できるようにになりたいと思います。



牧野 綾晟 Makino Ryosei
 学生の頃、ラグビーをしていました。そこで培った能力をゼオライトで活かしていけるよう頑張ります。

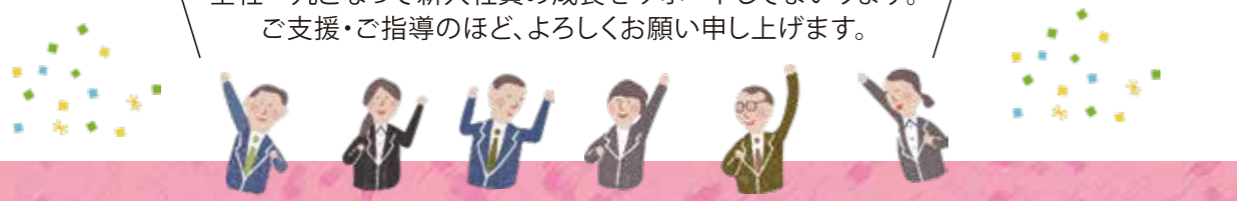


山下 純矢 Yamashita Junya
 幼稚園から高校までサッカーをしていたので体力には自信があります。ご指導、よろしくお願いたします。



山下 颯斗 Yamashita Hayato
 中学高校とバドミントン部に所属した経験を活かして何事にも粘り強く仕事をしたいと思っています。

全社一丸となって新入社員の成長をサポートしてまいります。ご支援・ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



Seasons 季節を楽しむ



オオデマリ [花言葉] 華やかな恋 約束 優雅なたしなみ

小さい花が集まったボールは直径10cmほどになり、大きい鞠のようにまとまってつくことから名づけられました。一見するとアジサイと見間違えられることがありますが、アジサイの花びらのように見える部分はガクですがオオデマリは花びらです。また、葉の形もオオデマリはギザギザした形で葉脈の部分がはっきりしています。花が咲き始めたときは緑がかったライムグリーンのような色で、徐々に真っ白なボール状の花に変化していきます。オオデマリは秋に紅葉もするので、春と秋両方楽しめる植物です。オオデマリの花は、主の枝から横に広がって伸びて、その枝からさらに短い枝が出て花が咲きます。梅雨入り前のよく晴れた青空に真っ白なボールのような花を咲かせる姿は、青と白の美しいコントラストで私たちを楽しませてくれます。白い花のイメージがありますが、ピンクやライムグリーンなどのいろいろな品種が出てきています。育てやすい花なので、初心者の方も綺麗な花を咲かせられます。枝が横に広がっていくので、十分なスペースを確保して庭植えや地植えがおおすすめです。

写真・文 / TRONC (トロンク)
 福岡市南区那の川2-4-32 HF平尾レジデンス1F
 TEL&FAX 092-791-5571 MAIL info@tronc-f.com
 Instagram @troncflower



水ひと筋に生きる

弊社創業者 故 河村恭輔が生前平成30年に出版した著書「水ひと筋に生きる」より一節をご紹介します。

◎ゼオライト工業に入社

体調を崩し、船乗りを辞めた私は、新聞の求人広告を見て就職活動を始めた。そこで巡り合い入社したのが大阪にあった水処理の会社であるゼオライト工業であった。当時、軟水装置の日本特許を取得した日本のメーカーだった。ここから私の「水ひと筋の歩み」が始まった。入社時、技術部門のポイラー技士を希望していたが、配属されたのは営業部だった。船での技術的な仕事から、営業の仕事へと百八十度変わり、最初は戸惑うことばかり。営業の仕方から教わるも、まったくだめで毎日が苦痛の連続だった。しかし、処理の仕事は面白く、現場の応援が楽しかった。先輩社員からは、基本設計の方法をはじめ、さまざまなことを学ばせてもらった。それが私の水創りの原点となり、その実績の積み重ねの上に今日のゼオライト株式会社がある。